

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		玉城政信	所 属		農学部 亜熱帯地域農学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.35	学部担当科目(畜産共生技術論、フィールド実習Ⅱ、基礎フィールド実習1～5組および卒業論文など)を担当し、熱帯・亜熱帯地域である沖縄の地域特性を踏まえた講義を実施する。特に実習では農業の基礎を理解できるように務める。 年次指導教員(4年次)として進路指導等に取り組む。			0.35	学部担当科目(畜産共生技術論、フィールド実習Ⅱ、基礎フィールド実習1～5組および卒業論文など)を担当し、熱帯・亜熱帯地域である沖縄の地域特性を踏まえた講義を実施した。特に実習では農業の基礎を理解できるように務めた。 学科長として進路指導等に取り組んだ。		
研究	0.15	沖縄の地域特性を踏まえた実社会で利用可能な研究開発および調査に努め、その成果を学会誌へ投稿する。			0.15	沖縄の地域特性を踏まえた実社会で利用可能な研究開発および調査に努め、その成果を学会誌へ2報投稿した。		
社会 貢献	0.10	1)沖縄畜産研究会の活動、研究会の開催に取り組む。 2)全国農林高校プロジェクト発表の審査として運営に貢献する。 3)地元、沖縄県の産業振興に貢献する。			0.10	1)沖縄畜産研究会の活動、研究会の開催に取り組んだ。 2)全国農林高校プロジェクト発表の審査として運営に貢献した。 3)地元の3審議会の委員長として参加した。併せて畜産農家対照の講演会も実施した。		
管理 運営	0.40	1)亜熱帯地域農学科の運営を効率的に実施する。 2)フィールド科学センターの運営、特に畜産関係を効率的に実施する。 3)各種委員会の活動を積極的に行う。			0.40	1)学科長として亜熱帯地域農学科の運営を行った。 2)フィールド科学センターの運営、特に畜産関係を効率的に実施し、牛の生産頭数、販売額が過去最高となった。 3)各種委員会の活動を積極的に行った。		
					0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		赤嶺 光	所 属	農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.25	学部生への授業では、基礎フィールド実習、フィールド実習Ⅰ、動植物人間関係学(5コマ)、緑化植物管理学、園芸福祉学概論、農業実践論、外国語文献購読および卒論論文Ⅰ・Ⅱ、大学院生への授業では、農林共生学特論などを担当する。また1年次指導教員として学生の教育支援・指導にあたる。連合大学院の学生を指導する。		0.25	学部生への授業では、左記の授業科目に加え、教職実践演習1コマも担当した。卒業論文では2名の学生の指導を担当した。1年次指導教員として2回の学科懇談会を開催し学生指導にあたった。連大学生に対しては第一副指導教員として学位論文の指導にあたり2名の学生に学位を授与することができた。	
研究	0.25	外部資金を獲得し研究を遂行する。		0.25	受託研究「県道における防草実証試験の解析」で1,965千円を得て研究を遂行した。共同研究として「赤土流出防止対策に効果が期待できる土壌回帰剤を利用した土壌団粒化促進技術の開発」で を獲得し研究を推進した。原著論文1報、学会発表は1件であった。	
社会 貢献	0.35	日本芝草学会の評議員として会を運営する。また2015年度日本芝草学会秋季大会事務局長として大会を運営する。日本園芸福祉普及協会の理事として会を運営する。おきなわ園芸福祉協会の会長として会を運営する。		0.35	2015年度日本芝草学会秋季大会および国際シンポジウムの事務局長を務めた。日本園芸福祉普及協会の理事会および総会へ出席した。おきなわ園芸福祉協会の会長として会を運営した。日本熱帯果樹協会沖縄支部の運営委員として総会を開催した。私立昭和薬科大学附属中学・高校の学校評価委員を務めた。	
管理 運営	0.15	フィールド科学センター次長としてセンター長をサポートする。予算委員、広報委員、驚異委員として学部運営に参加する。		0.15	センター次長としてセンター運営の一端を担い、また、全国農場協議会、全国演習林協議会へ出席した。予算委員、広報委員、教育委員として活動したほか、キャンパスリファイン計画WG委員の座長を務めた。	
	0.00			0.00		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		モハメド アムザド ホサイン		所 属		亜熱帯フィールド科学教育研究センター		職 名		准教授	
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定				業務 ウエイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果				
教育	0.30	1. 学部担当科目(基礎フィールド実習1~5組、外国文献講読および卒業論文)と大学院担当科目(亜熱帯農学特別演習Ⅰ、亜熱帯農学特別研究Ⅰ、亜熱帯農学特別研究Ⅲ、栽培実践学特論及び熱帯生物資源生産学)及び博士課程の研究指導を担当し、熱帯・亜熱帯地域である沖縄の地域特性を踏まえた講義を実施する。特に実習では農業の基礎を理解できるように務める。 2. 授業評価などの指摘、自らのアイデアに基づく授業の改善を行う。 3. 留学生への受け入れ及び指導を行う。				0.30	1. 学部担当科目(基礎フィールド実習1~5組、外国文献講読および卒業論文)と大学院担当科目(亜熱帯農学特別演習Ⅰ、亜熱帯農学特別研究Ⅰ、亜熱帯農学特別研究Ⅲ、栽培実践学特論、作物栽培環境学及び熱帯生物資源生産学)及び博士課程の研究指導を担当し、熱帯・亜熱帯地域である沖縄の地域特性を踏まえた講義・指導を実施した。特に実習では農業の基礎を理解できるよう指導した。 2. 授業評価などへの指摘、自らのアイデア、新しい情報に基づく授業の改善を行った。 3. 1名の国費留学生を研究生として受け入れ、2015年10月末より指導を継続的に行っている。				
研究	0.25	1. 卒業論文、修士課程及び博士課程の学生の研究を行い、その成果として国内外の学会において発表を行い、また学会誌への投稿も行う。 2. 外部資金に関連したウコン栽培に関する研究を実施する。 3. ウコンの有機栽培に関する研究を行う。またその成果を周辺地域に提供する。 4. 上記研究の成果を学会で発表する。				0.25	1. 5名の4年生の研究・卒業論文、2名の修士学生の研究・修士論文および5名の博士学生の研究、論文作成指導を日々行った。その成果として国内外の学会における発表を行い、また学会誌への投稿を行った。 2. 外部資金2件、計約108万円の資金をもとに、関連したウコン栽培に関する共同研究を実施した。 3. ウコンの有機栽培に関する研究を行った。またその成果を周辺地域に情報提供した。 4. 上記研究の成果を学会で発表した(3件)。				
社会貢献	0.20	1. 国内及び国際学会で編集員として活動する。 2. 地域の植物に関する教育に貢献する。 3. 国内外からの訪問者及び研究者に熱帯・亜熱帯地域の作物に関する情報を提供する。 4. 地域の農家及び企業の発展の為、技術指導を行う。				0.20	1. 国内及び国際学会で編集員としての活動を行った。 2. 地域の農業や植物に関する教育の一環として、東京と札幌で国内の外企業にウコン栽培に関する実地指導、講義を行った。 3. 国際農学プログラム参加者(スリランカ、タイ、インドネシアおよびバングラデシュ)への熱帯作物栽培に関するレクチャー、指導および情報提供を行った。 4. 沖縄本島内、その他宮古島や石垣島のウコン栽培農家、組合に対し、月1回の割合で実地・技術指導を行った。また地元企業の発展の為、商品開発に係る指導・助言を行った。				
管理運営	0.15	1. 学内の委員会(2)へ積極的に参加する。 2. 所属部局及び所属学科の管理運営に貢献する。 3. フィールドセンターの圃場グループ全体の管理・運営を行う。 4. 修士及び博士課程の入試に関連する業務を行う。				0.15	1. 学内の委員会(1件)へ積極的に参加した。 2. 所属部局及び所属学科の管理運営に貢献した。 3. フィールドセンターの圃場グループ全体の管理・運営を行った。 4. 修士及び博士課程の入試に関連する業務を行った。				
進路指導	0.10	1. 学生の教育、研究と就職に関する助言、指導を行う。 2. 学生の生活における相談に乗る。				0.10	1. 研究室所属および所属希望の学生の教育、研究と就職に関する助言、指導を行った。 2. 学生の生活における相談に乗った。				
	0.00					0.00					
計	1.00	・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。				1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		高嶋 敦史	所 属		農学部 亜熱帯地域農学科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.30	担当する講義や実習科目の質を向上させる。また、卒論・修論の指導では、研究の組み立てからデータの取得、解析、とりまとめに至る指導を適切に行う。研究室に配属された学生や講義・実習等に関わる学生に対し、就職情報を提示しながら就職活動の進め方について随時アドバイスする。			0.35	公開森林実習「亜熱帯林体験実習」は「森林フィールド講座」と合同開催し、プログラムを充実させることができた。卒論・修論に関しては、研究室の所属学生4名について、現場調査、ゼミ、メール添削等で丁寧に指導を行った。進路指導は、学生が自発的かつ積極的に就職活動に取り組んでくれた。		
研究	0.30	やんばる地域の天然林における成長／生産力の評価や、人工林の管理指針策定に向けた現地調査およびデータ解析に取り組む。また、屋久島のヤクスギ林の動態解明に関する既得データの論文化を進める。			0.25	やんばる地域に関しては、環境研究総合推進費を受託して、世界自然遺産登録に向けた各種野外データの取得に取り組んだ。一方、屋久島のヤクスギ林の研究では、目立った成果に到達することができなかった。		
社会 貢献	0.15	公開講座の実施や研修の受け入れ等を通じ、やんばるの森に関する情報を発信する。また、やんばる地域の国立公園／世界遺産登録に向けた動きなど、地域の課題にも積極的に取り組む。			0.10	公開講座「やんばる山学校」の実施、辺土名高校環境科の研修受け入れなどで地域貢献を行った。また、やんばる地域の世界自然遺産登録や森林ツーリズムの推進に向けた各種委員会などにも参加した。		
管理 運営	0.25	与那フィールドにおける研究・教育利用の推進に努める。その際、フィールドが安全かつ円滑に利用されるよう、環境の整備に取り組む。また、職員が仕事に取り組みやすい職場づくりにも取り組む。			0.30	与那フィールドの施設および組織の管理運営に力を注いだ。また、利用者への対応や、国立公園化／世界自然遺産登録に向けた調整などにも取り組んだ。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		嬉野健次.	所 属		農学部 亜熱帯地域農学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・担当講義について、学生が理解しやすいように写真をもちいたりして資料の作成を工夫する。学生が本実験の意義を理解したかを判断するため毎回小テストを課す。研究室の学生の進路の相談にのる。 			0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・担当講義(専門科目5科目(うち2科目は分担で各2コマと4コマ担当), 実験科目1科目, 共通教育科目(分担2コマ), その他(卒論, 演習)について, 計画通りの講義を行った。研究室の学生に就職情報を随時提供した。 		
研究	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度まで科学研究費で採択されたテーマについて, その内容についてとりまとめ, 論文を投稿する。また, これまでに予備実験を行った新たな研究テーマについて, 外部資金獲得のために応募する。 			0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の科研費で行った研究について, 国際誌Euphytica(英文誌)に論文投稿し, 採択された。また, 農水および九州大学との共同研究にの内容2件が, 園芸学会の英文誌に採択された。ツツジの休眠性に関する研究について, 美ら島財団の研究基金に応募し, 採択された。 		
社会貢献	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・園芸学会のシンポジウム委員を担当する。新聞社などからの植物に関する問い合わせに対応する。 			0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・園芸学会シンポジウム委員として, 秋開催されたのシンポジウムのコンビナーとして司会を行った。また, サクラの休眠やパッションフルーツの着果性等, テレビ局および一般市民からの問い合わせに対応した。 		
管理運営	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員, 図書運営委員, 予算委員, 電算機室運営委員, フィールド運営委員を担当する 			0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度担当した委員の任務を遂行した。また, その他の委員も担当した。 		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		伊村 嘉美	所 属		農学部 亜熱帯地域農学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.30	各科目の内容の改訂を継続する。今年度は、特に、家畜飼養管理学実験の内容充実を図る。研究室配属の4年生と指導教員を担当する2年生について、早期進路希望を聴取し、就職あるいは進学に向けた取組みを促す。			0.30	講義や実習の改善を概ね実施した。研究室の4年生全員(3名)希望先に就職が内定した。2年生の進路指導を概ね実施した。		
研究	0.20	主著者として学会での報告と学会誌への投稿を1報以上実施する。			0.20	学会発表を行ったが、投稿は行えなかった。		
社会 貢献	0.30	地域の畜産関係者からの技術相談に対応する。(1.暑熱ストレスを緩和する飼料設計の実用化。2.泡盛粕の飼料化に関する件)日本暖地畜産学会の編集委員および県幹事として貢献する。			0.30	技術相談2件、地域の畜産に関する共同研究3件に参加した。学会活動を順調に実施できた。		
管理 運営	0.20	各種委員として、管理運営活動に積極的に参画する。特に、学部自己評価委員としての任務の遂行に努める。			0.20	ほぼ全ての活動に参加し、職責を果たせたと考えている。		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		平川守彦	所 属		農学部亜熱帯地域農学科
			職 名		准教授
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果
教育	0.30	学部担当科目(循環畜産学、家畜行動管理学、家畜福祉論、動植物人間関係学、外国文献購読)を担当し、他学科、他講座の学生にもわかりやすい講義を行う。大学院では、家畜管理学特論を担当し、活発な討議のできる講義にする。		0.30	学部担当科目(循環畜産学、家畜行動管理学、家畜福祉論、動植物人間関係学、外国文献購読)を担当し、他学科、他講座の学生にもわかりやすい講義を行った。大学院の家畜管理学特論の講義を討論しながら行った。
研究	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・3、4年次学生および琉大馬術部の部員と一緒に協力しながら、与那国馬のホースセラピーとヤギセラピーによる癒し効果に関する基礎研究をおこなう。 ・家畜の福祉を考慮したヤギの放牧に関する研究をおこなう。 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・3、4年次学生および琉大馬術部の部員と一緒に協力しながら、与那国馬のホースセラピーとヤギセラピーによる癒し効果に関する基礎研究を行った。 家畜の福祉を考慮したヤギの放牧に関する研究を行った。
社会貢献	0.15	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンパスツアーで模擬講義を行う。 ・うない研究支援センターによる大学職員のための「夏休み学童保育」を行う ・沖縄総合事務局消費・安全対策交付金に係わる事業の第三者評価委員として評価を行う。 		0.15	<ul style="list-style-type: none"> ・8月4日～5日に「夏休み学童保育」を子どもたち28名が参加して放牧地で行った。 ・沖縄総合事務局消費・安全対策交付金に係わる事業の第三者評価委員として評価を行った。
管理運営	0.20	学部においては、代議員、入試委員、進路指導委員、また、全学においてはハラスメント支援センターワーキンググループ、ハラスメント相談窓口担当者として積極的に活動を行う。		0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・学部においては、代議員、入試委員、進路指導委員、また、全学においてはハラスメント支援センターワーキンググループ、ハラスメント相談窓口担当者として積極的に活動を行った。 ・ハラスメント指針見直し検討委員会のワーキンググループで「指針の見直し」作業を行った。
進路指導	0.15	4年次学生に就職指導を行う。		0.15	4年次学生に就職指導を行い、全員就職することができた。
	0.00			0.00	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		内藤 重之	所 属		農学部 亜熱帯地域農学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.50	<p>学部担当科目については資料を配布するとともに、ビデオ視聴や現地視察等を取り入れて理解しやすい講義を行う。授業終了時に学生から質問と感想を提出してもらい授業の改善に努める。大学院担当科目については意見交換を行い受講生の問題関心に沿った授業を行う。また、都市農村交流や食料・農産物流通等に関する研究成果を授業に反映させる。</p> <p>研究室の学生や担当科目の受講生等に対して進路(進学・就職)についてのアドバイスを積極的に行う。</p>			0.50	<p>学部担当科目、大学院担当科目ともに目標を達成できたが、学生の感想等を参考にしながら今後さらに授業を充実させていきたい。研究室の学生等に対して進路について積極的にアドバイスをを行ったが、教員志望の学生の進路が決まらなかった点は残念である。</p>		
研究	0.35	<p>科研費の研究代表課題および研究分担課題の調査研究を遂行するとともに、研究成果を学会において報告し、学会誌へ論文を投稿する。また、共著書を執筆し、年度内の刊行を目指す。さらに、日本農業市場学会の理事及び編集事務局、食農資源経済学会の理事、沖縄農業経済学会の理事及び事務局、農業理論研究会の事務局としての役割をそれぞれ果たす。</p>			0.32	<p>科研費等の調査研究をほぼ計画どおり遂行できた。また、その研究成果を日本農業市場学会において発表し、学生等との連名で学会誌へ論文を投稿するとともに、共著書『新たな食農連携と持続的資源利用』の分担執筆を行い、刊行された。さらに、各学会や研究会の役員等としての役割を果たすなど、目標を達成できた。</p>		
社会 貢献	0.08	<p>沖縄県中央卸売市場取引委員会の会長ほか沖縄県の委員(5)および内閣府沖縄総合事務局の委員(4)、西原町耕作放棄地解消対策協議会の会員として、それぞれ役割を果たす。また、長寿社会を支える人材育成プログラム「琉大ちゅら島プラン」の実践による地域貢献の一翼を担う。</p>			0.09	<p>開催されなかったり、授業の関係で出席できなかったりした委員会や協議会の会議もあるが、新たに独立行政法人の委員を務めるなど、目標以上に各委員会や協議会等の委員としての役割を果たすことができたと考えている。また、長寿社会を支える人材育成プログラム「琉大ちゅら島プラン」の実践による地域貢献についても外部講師との連絡調整や自ら講師を務めるなど責務を果たした。</p>		
管理 運営	0.07	<p>全学的な委員会である琉球大学情報公開委員会、琉球大学国際沖縄研究所運営委員会の委員として、また農学部の代議員、進路指導委員、連合農学研究科の代議委員、教務委員、入試委員等として、それぞれ責務を果たす。</p>			0.09	<p>農学部内の担当委員に一部変更があったが、開催された委員会には概ね出席し、とくに連合農学研究科の代議委員の職務に多くの労力を費やしたことから、目標を達成できたと考えている。</p>		
計	1.00				1.00	<p>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</p>		
<p>※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。</p>					<p><input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。</p>			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)							
名 前		木島真志	所 属		農学部 亜熱帯地域農学科	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.40	セミナー開催や授業を活用し、学生が大局的な視野に基づく判断能力・思考能力を養えるような環境を整備する。最新の研究事例などの紹介を通して森林資源管理経営の重要性・面白さを伝える。留学希望者の支援及び、留学生の支援を積極的に行う。研究室の学部生・大学院生および指導教員となっている学科の4年生に対して、進学・就職などの進路についてアドバイスを積極的に行う。		0.45	学内の授業に加えて、発展途上国における教育支援(カンボジア:9月、ベトナム:11月)も積極的に行った。これら発展途上国で開催したワークショップで得た経験を、学内の授業に反映させることで学部担当科目、大学院担当科目の内容がより充実したものになった。		
研究	0.40	科研費の研究代表1課題の調査研究と国内外における他大学・他研究機関と進行中の共同研究(韓国, マダガスカル, 統計数理研究所)を遂行し、その成果発表を国内外での学会にて積極的に行い、学会誌へ投稿する。国内外の学会・研究会の運営・参加を積極的に行う(国内:3, 国外:1)。新たな外部資金獲得(科研費)のための申請書を準備し応募する。		0.35	自分が代表の科研費(基盤C:25450217)と、分担している二国間交流事業共同研究および、学外の共同研究をほぼ計画どおり遂行できた。また研究成果の一部を国際誌(1本)に発表した。(尚、現在投稿中の論文は国際誌2本, 国内誌2本)また、科研費の申請書を作成し、応募した。		
社会貢献	0.10	学外の審議会等(県内:2)へ参加し、積極的に情報交換を行う。さらに、国際貢献に関しては、発展途上国における教育支援として、モデリングのワークショップで講義する。		0.10	目標どおり学外の会議に委員として参加し、積極的に議論を行った。国内の学会・研究会のおよび国際学会の運営を積極的に行い、委員としての役割を果たすことができたと考えている。		
管理運営	0.10	学部将来計画委員およびフィールド運営委員会としての責務を果たす。さらに、4年次の学科の教職担当教員として、学生の教員免許獲得に向けて、教職履修カルテへのコメント入力などを通してサポートを行う。		0.10	目標どおり責務を果たせたと考えている。		
				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		杉村泰彦	所 属		農学部 亜熱帯地域農学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.40	①学部については、URGCCで掲げられた目標を達成しうる講義内容を構築するとともに、より深い学びへ接続できる内容とするよう努力したい。 ②大学院修士課程、および連大博士課程については、本人の素養と問題意識を表現しうる論文の作成を目標として指導したい。			0.43	①学部講義および演習については、昨年度の講義内容に改良を加え目標の達成を目指し、一定の成果はあったが、引き続き内容向上に向けた努力が必要である。 ②大学院については概ね目標を達成したものの、社会人大学院生の増加もあって、個別指導での対応に終始した。教員の負担は別にしても、大学院生に議論の場が用意できなかったのは問題であった。		
研究	0.45	①科研費基盤研究(C)(一般)、②江頭ホスピタリティ事業振興財団研究助成金の2件が採択されたことから、遅滞なく研究を遂行する。特に後者は本年度完結の資金であることから、研究計画の管理に万全を期す。			0.45	①については、海外事情や災害により調査が予定通り進まなかった。次年度、これを挽回するべく努力したい。②については、効率的な出		
社会貢献	0.05	研究室で受託予定である沖縄県農業基礎調査事業(2年目)について、昨年の成果を活かしつつ、取りまとめ等に協力する。			0.02	4月時点で予定していた調査事業は発注がなかった。しかし、従来予定されていた①中央畜産会「軽種馬経営高度化研修委員会」委員、②農畜産業振興機構「調査・報告」を担当した。		
管理運営	0.10	学部教育委員、FD委員会、広報委員、全学学士教育プログラム委員会の4委員会について、責務を果たすよう努力したい。			0.10	目標時の4委員会に加え、農学部本館改修ワーキンググループなども担当した。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			